

はじめに ～エコドライブ推進の必要性～

地球温暖化問題は、最も深刻な環境問題とされています。このまま温室効果ガスが増加すると、異常気象の頻発、生態系の危機、水不足の一層の悪化、農業への打撃等の悪影響が世界的に生じ、我々人類の生存基盤を脅かすことが懸念されます。

このような状況を鑑みますと、京都議定書における国際公約遵守に向けて、我が国全体のCO₂排出量（2006年度速報値：1,275百万トン）の約2割を占める運輸部門に属するロジスティクス分野においても、積極的な取り組みを進めなければなりません。

ロジスティクスにおけるCO₂排出量削減施策には、様々なものがありますが、現在の物流の仕組みを変えず、基本的には投資等が必須ではない、今日からできる身近な施策として、「エコドライブ」があります。

エコドライブと言うと、大多数の方が、「輸送事業者が実施するもの」と認識されていることでしょう。その証拠として、既に作成されている多くのマニュアル等は輸送事業者を対象としているものです。

しかしながら、エコドライブをより推進する（＝ドライバーがエコドライブをしやすい環境を作る）ためには、輸送事業者だけでは限界があり、輸送を委託する発荷主、届け先である着荷主の協力が大変重要になると考えます。

そこで、本書では、エコドライブ推進のために、輸送事業者（元請、協力会社）、発荷主、着荷主という各主体の役割と活動項目例の整理を行いました。

また、エコドライブを始めると、多くの場合、壁（課題）に遭遇いたします。そこで、委員会メンバーから「エコドライブ実践時の課題と解決策」を収集し、紹介しております。

ぜひ、皆様にご一読いただき、貴社車両のエコドライブの推進、及び貴社が委託している/貴社に納品に来る車両のエコドライブのさらなる進展によるCO₂削減の一助としていただければ幸いです。